

# 特定保健指導を委託する際 の質の維持・管理について

平成31年6月4日（火）

豊島区地域保健課

上野 雅子



# 豊島区の国保情報 (H30)

**豊島区全人口** (287,111人 <H30.1.1>)

0～74歳住民人口 (258,270人)

40～74歳住民人口 (122,355人)

## 豊島区国保人口

国保人口 82,006人 (0～74歳)

住民全体に対する国保加入率は約**31.8%**で推移

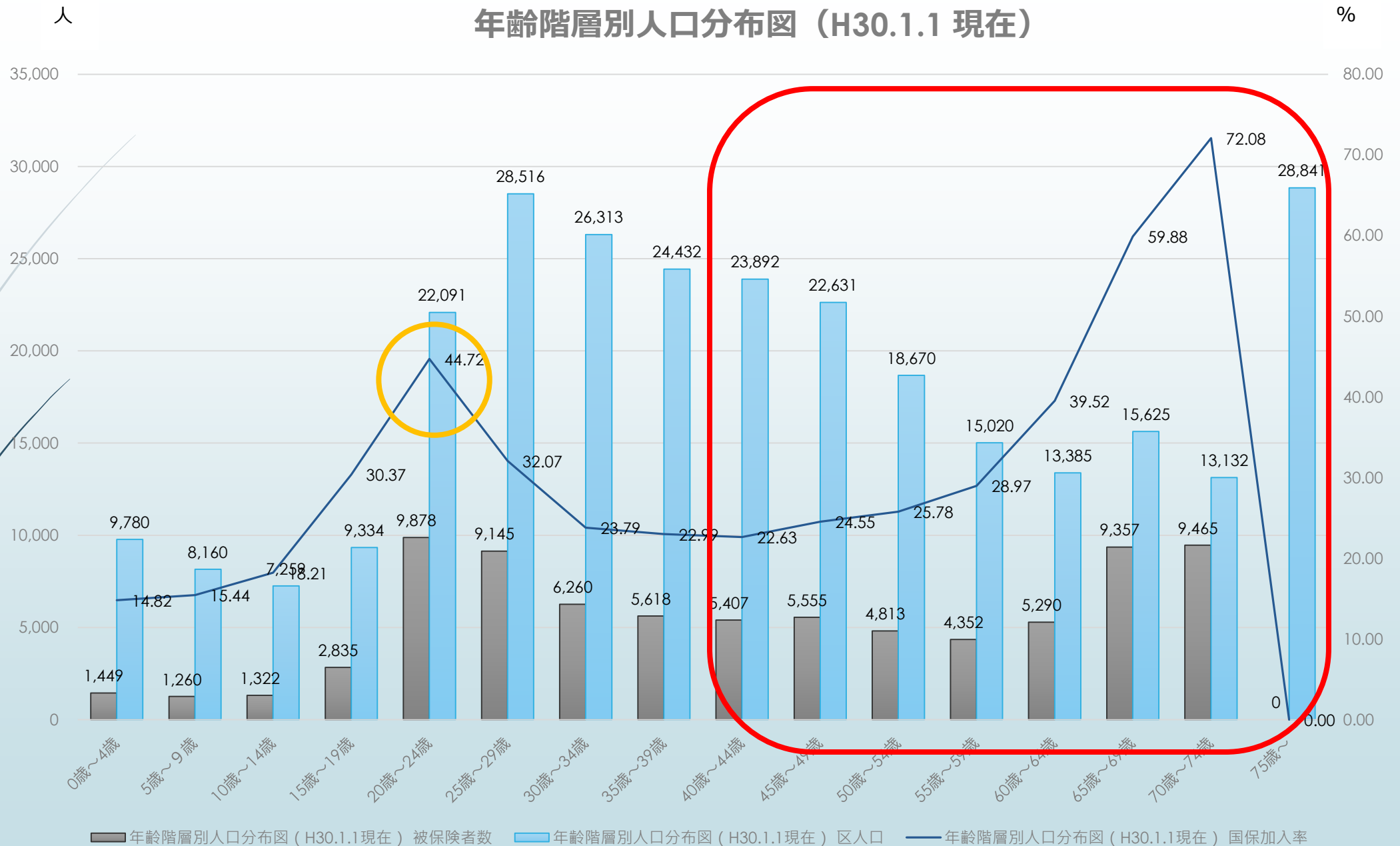
**特定健診対象年齢国保人口** 44,239人 (40～74歳)

国特定健診の年代の

国保加入者率は

**約36.2%**

### 年齢階層別人口分布図 (H30.1.1 現在)



■ 年齢階層別人口分布図 (H30.1.1 現在) 被保険者数   ■ 年齢階層別人口分布図 (H30.1.1 現在) 区人口   — 年齢階層別人口分布図 (H30.1.1 現在) 国保加入率

# 豊島区での特定健診

4

- 所管の国保課より保健分野（地域保健課）に執行委任
- 地域保健課より特定健診を医師会に委託

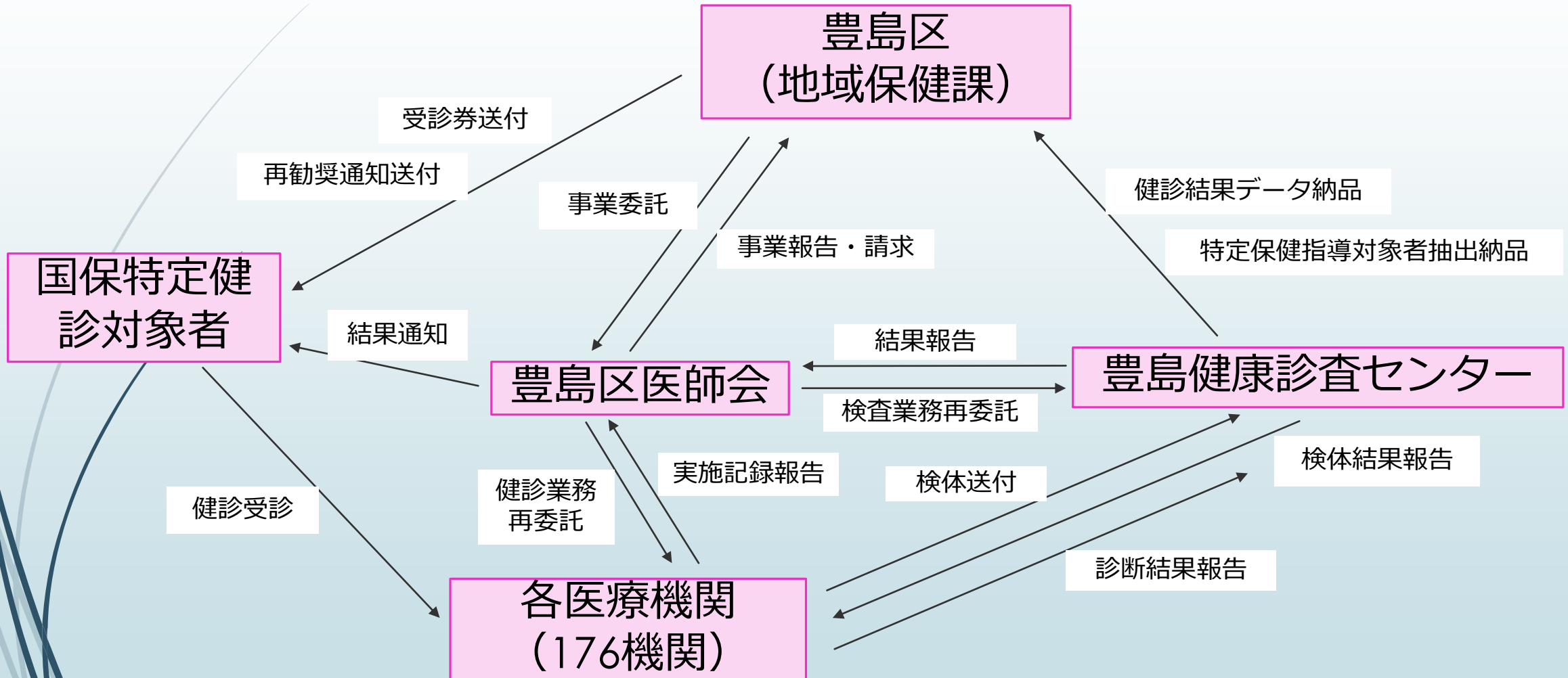
## 健診のながれ

- (1) 受診券を対象者に発送【3回に分けて】
- (2) 受診券を持って契約医療機関にて健診受診
- (3) 医療機関から検体を健診センターに回収
- (4) 健診センターで解析し、各医師に結果を戻して、判定してもらう
- (5) 健診センターから医師会を通じて結果を個別通知（郵送）

## 健診の再勧奨

- (1) 未受診者を4種類に分類し3回に分けて再受診勧奨を発送。  
4種類の内容
- ① 毎年受診しているがまだ受診していない方
  - ② 2～3年に一度健診履歴がある方
  - ③ 一度も受診歴がない40～59歳の方
  - ④ 一度も受診歴がない60歳以上のかた

# 豊島区での特定健診



# 豊島区での特定保健指導

6

## 特定保健指導のながれ

- ①医師会（健診センター）にて階層化（結果と同時）
- ②保健指導対象者データを受け取り、対象者に利用券発送
- ③対象者の意思確認期間（約1週間）地域保健課にて実施
- ④**意思確認**後の個人データを事業者に渡し、事業者から保健指導の勧誘開始。（電話、はがき等）  
利用者より保健指導申込み受付（事業者）
- ⑤保健指導日時の予約後、保健指導実施。
- ⑥事業者は、毎月実施状況を地域保健課に報告
- ⑦3月までにすべての初回面接を終了
- ⑧次年9月までにすべての支援を終了
- ⑨次年12月に実績報告、自社評価を提出いただく

# これまでの特定保健指導の経過

第1期	H20	H21	H22	H23	H24
東地区	A社	A社	A社	A社	A社
西地区	B社	C社	C社	C社	D社
実施率（法定）	<b>17.0%</b>	<b>24.5%</b>	<b>20.8%</b>	<b>19.1%</b>	<b>24.1%</b>
特別区平均	7.4%	13.7%	12.8%	13.6%	14.6%
第2期	H25	H26	H27	H28	H29
東地区	A社	A社	A社	A社 (西地区1/3含む)	A社
西地区	D社	D社	E社	E社 (西地区2/3)	A社
実施率（法定）	<b>21.3%</b>	<b>22.9%</b>	<b>19.6%</b>	<b>25.1%</b>	<b>26.6%</b>
特別区平均	13.6%	15.2%	14.9%	13.6%	13.2%

第3期 平成30年度からもA社のみにも事業委託

## 特定保健指導を委託した訳 委託事業者を2事業者にした訳

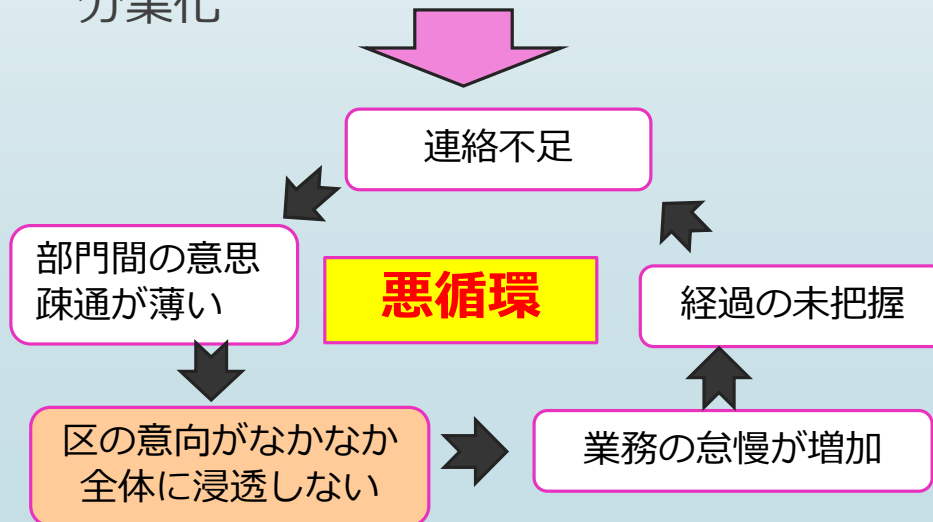
- ▶ 豊島区の人口規模での保健指導予測数は600～700人直営の専門職で対応できず（保健師、栄養士各1名体制 別事業兼務）
- ▶ 豊島区の人口規模での保健指導予測数は600～700人⇒1事業者では無理？
- ▶ 事業者ごとに統計し、評価するためには、最低でも100人以上の実施数が必要
- ▶ 通いやすい会場を設定したい
- ▶ **事業者を競わせたい**
- ▶ 3か所以上の事業者では、統計で合算するのが複雑になる
- ▶ 3か所以上の委託契約は、契約事務作業も増加する
- ▶ 毎年の成績により評価するため、長期契約は行わない



## 2事業者の決定的な違い

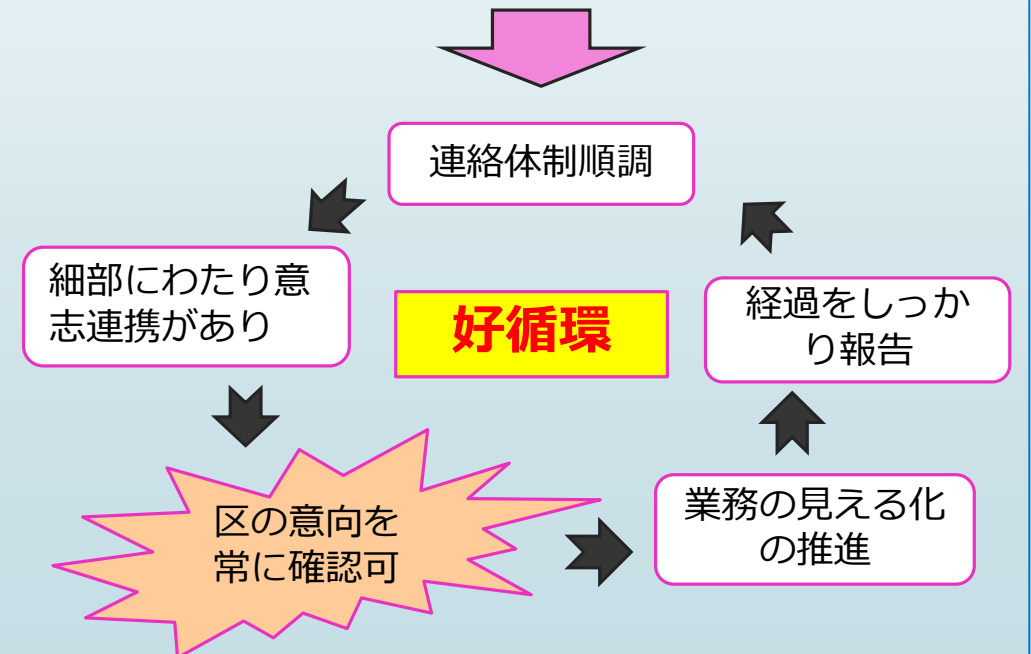
### 西地区

- ◎大規模企業
- ◎地区外企業
- ◎営業部門、勧誘部門  
広報デザイン部門  
保健指導部門、統計部門等  
分業化



### 東地区

- ◎小規模企業
- ◎地元企業
- ◎営業、勧誘、広報、指導、統計を  
統合して業務



## 2事業者の特定保健指導利用率

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
A社	24.4%	24.8%	27.8%	26.4%
E社	—	12.6%	13.4%	—
D社	21.5%	—	—	—
平均	22.8%	18.9%	24.9%	26.4%

26年度から27年にか  
け西地区の事業者  
変更。変更1年目  
のため、利用率  
アップを期待

27年にE社がA  
社の利用率の  
足を引っ張る  
ことに！

E社の2年目に20%  
利用率を期待。最  
低でも15%、それ  
以下なら継続な  
し。

28年度E社は  
年度末利用勧  
奨の追い込み  
せず。利用率  
低迷のまま。

29年度のE社  
継続断念。

2事業者の競争による利用率アップにつながらなくなった⇒2事業者採用を断念

# 委託事業者質の向上について

## (1) 事業者との協議会・研修会を大切に！

6月：開始前

6月：新年度に向けた研修会

11月：途中経過（実施率向上に向けて）

2月～4月：昨年の実施結果と評価

### 研修会で提供する内容

- 区の健診結果情報
- 区健康分布及び医療費の推移
- 保健指導実施結果
- 保健指導で配慮していただきたいこと
- 区の介護予防情報
- 区健康情報資源の提供
- 意見交換

# 協議会の次第（例）

12

## ◎平成29年度 特定健康診査・特定保健指導

- ・実施状況 [資料1]
- ・法定報告 [資料2]
- ・実施結果報告 (A社様より)

## ◎平成30年度 特定健康診査・特定保健指導

- ・実施状況 [資料3]
- ・経過報告 (A社様より)
- ・帯同報告 [資料4]
- ・期末に向けての対策

## ◎情報交換

- ・第三期特定健康診査(特定保健指導)に関すること
- ・継続分の契約スケジュール [資料5]
- ・次年度にむけて [別紙1]
- ・国民健康保険課より

# 協議会にて保健指導委託事業者に実施要領提示

1. 業務の目的
2. 保健指導の対象者
3. 実施する期間
4. 業務委託に関すること
5. 対象者の振り分け方
6. 利用方法
7. 指導の方法
8. 対象者の特別な取扱い
9. 保健指導実施の注意点
10. 保健指導協議会参加について

区の目的を  
しっかり伝授

来ていただきありが  
とう。お良く情報を  
どうぞ！という気持  
ちで臨む

- 1 1. 委託事業者計画書の提出及び指導者名簿
- 1 2. 報告書の提出
- 1 3. 精度度管理について
- 1 4. 事故の報告
- 1 5. 委託料の種類と支払い
- 1 6. 個人情報保護
- 1 7. 保健指導の評価
- 1 8. 区への報告
- 1 9. 事業従事者の健康管理
- 2 0. その他

事業者独自の  
計画がきちん  
とあるか確認

提出期日を  
しっかり守る

事業者独自の  
評価ができて  
いるか確認

# 委託事業者質の向上について

## (2) 実施状況の把握に関する資料の統一化

### 毎月の実施状況把握資料

特定保健指導実施率把握票											別紙1
データ受渡年月日	支援種別	特定保健指導 対象者数	○事業者分 ① (②+③+ ④)	特定保健指導 初回開始終了 ①	特定保健指導 実施率 ②	特定保健指導 新設者 ③	特定保健指導 参加不明者 ④	特定保健指導 修了者	特定保健指導 途中脱落者 (3回アプ ローチ)	特定保健指導 途中脱落者	特定保健指導 資格喪失者
1回目	動機付け支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	積極的支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	合計		0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0
2回目	動機付け支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	積極的支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	合計		0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0
3回目	動機付け支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	積極的支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	合計		0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0
4回目	動機付け支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	積極的支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	合計		0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0
5回目	動機付け支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	積極的支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	合計		0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0
6回目	動機付け支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	積極的支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	合計		0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0
7回目	動機付け支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	積極的支援		0	0	#DIV/0!	0	0				
	合計		0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0
	動機付け支援		0	0	#DIV/0!	0	0				

# 委託事業者質の向上について

## (3) 特定保健指導評価指標の提示

	評価指標	内容	評価者	時期
1	特定保健指導事業者帯同による評価	委託先の保健指導者の制度管理	区	帯同時
2	「集団」を対象とする評価	特定健診・保健指導のアウトプット・アウトカム評価 保健指導のプロセス評価	区	1年後
3	「事業」を対象とする評価	委託先保健事業者の制度管理	区	1年後
4	「事業」を対象とする評価	特定健診・保健指導のストラクチャー評価	区・第三者	1年後
5	最終評価「医療費」	特定健診・保健指導の参酌成果評価	区	3・5・10 20年後

# 1 帯同時評価指標

16

1・特定保健指導事業者帯同による評価					平成	年	月	日
事業者（ ）					評価者（ ）			
1	2	3	4	5				
良くない					あまり良くない			
					ふつう			
					だいたい良い			
					良い			
<b>1. 会場の設置</b>					<b>コメント欄</b>			
(1) アクセス								
(2) 保健指導場所								
<b>2. 面接時間</b>								
(1) 相談時間								
<b>3. 面接内容</b>								
(1) 指導者の声のトーンやペース配分								
(2) 対象者の健康状態・意識・性格傾向の把握								
(3) 対象者を取り巻く環境全体の把握								
(4) 対象者の話の受け止め								
(5) 健診結果の説明								
(6) 食生活の話								
(7) 身体活動の話								
(8) 指導媒体の使い方								
(9) 目標設定の適切さ								
(10) 具体的行動目標設定								
(11) 実践プログラムの紹介								
(12) 実践のための支援								
(13) 相談者の目標達成度による改善案の提示								
(14) スケジュール調整								
<b>4. 指導者</b>								
(1) 身だしなみ								
(2) 視線の高さ								
(3) 指導の態度								
(4) 言葉使い								
<b>5. 全体</b>								
(1) 全体の流れ								
(2) 相談者の満足度								
(3) 今後の継続度								

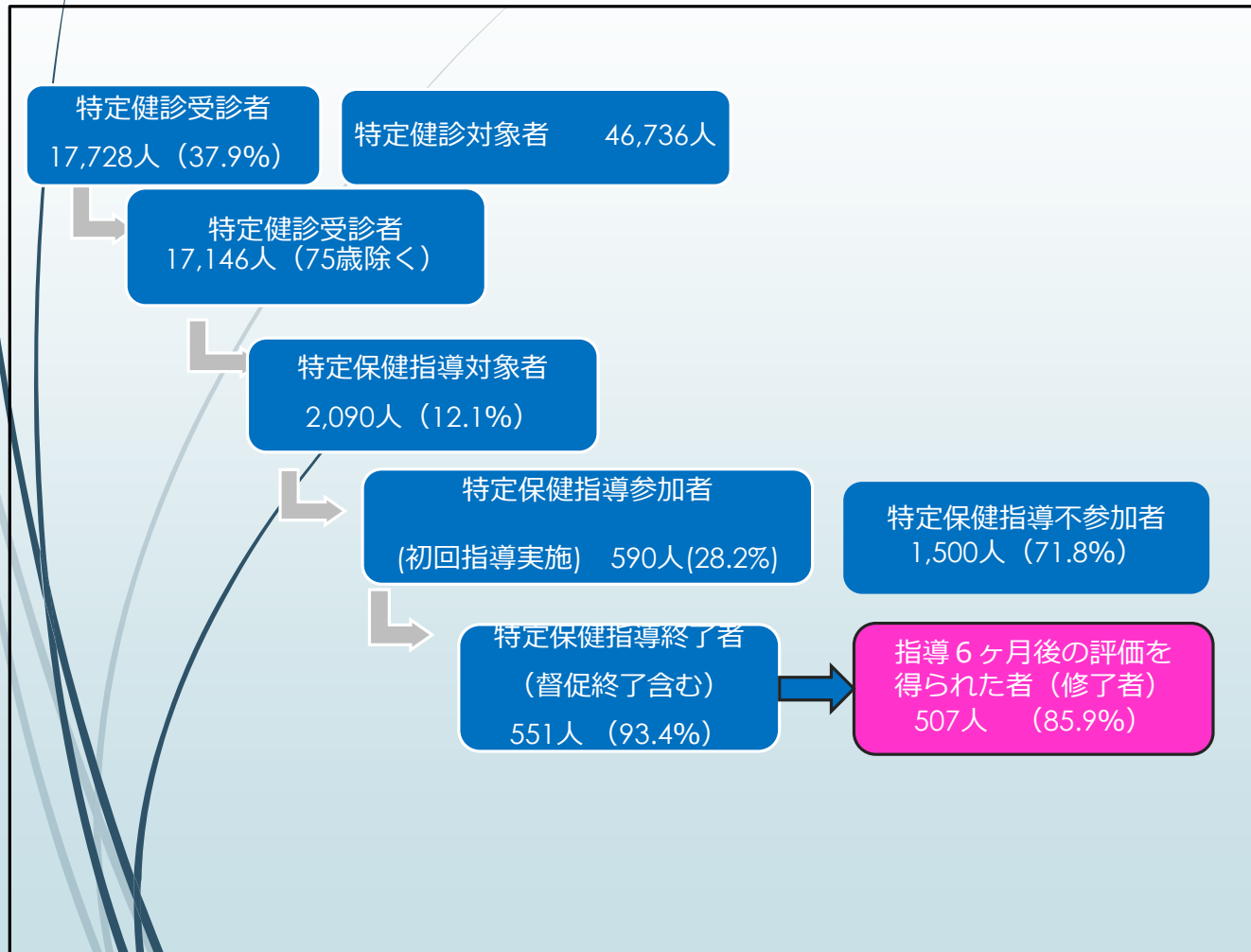


# 帯同報告 (例)

17

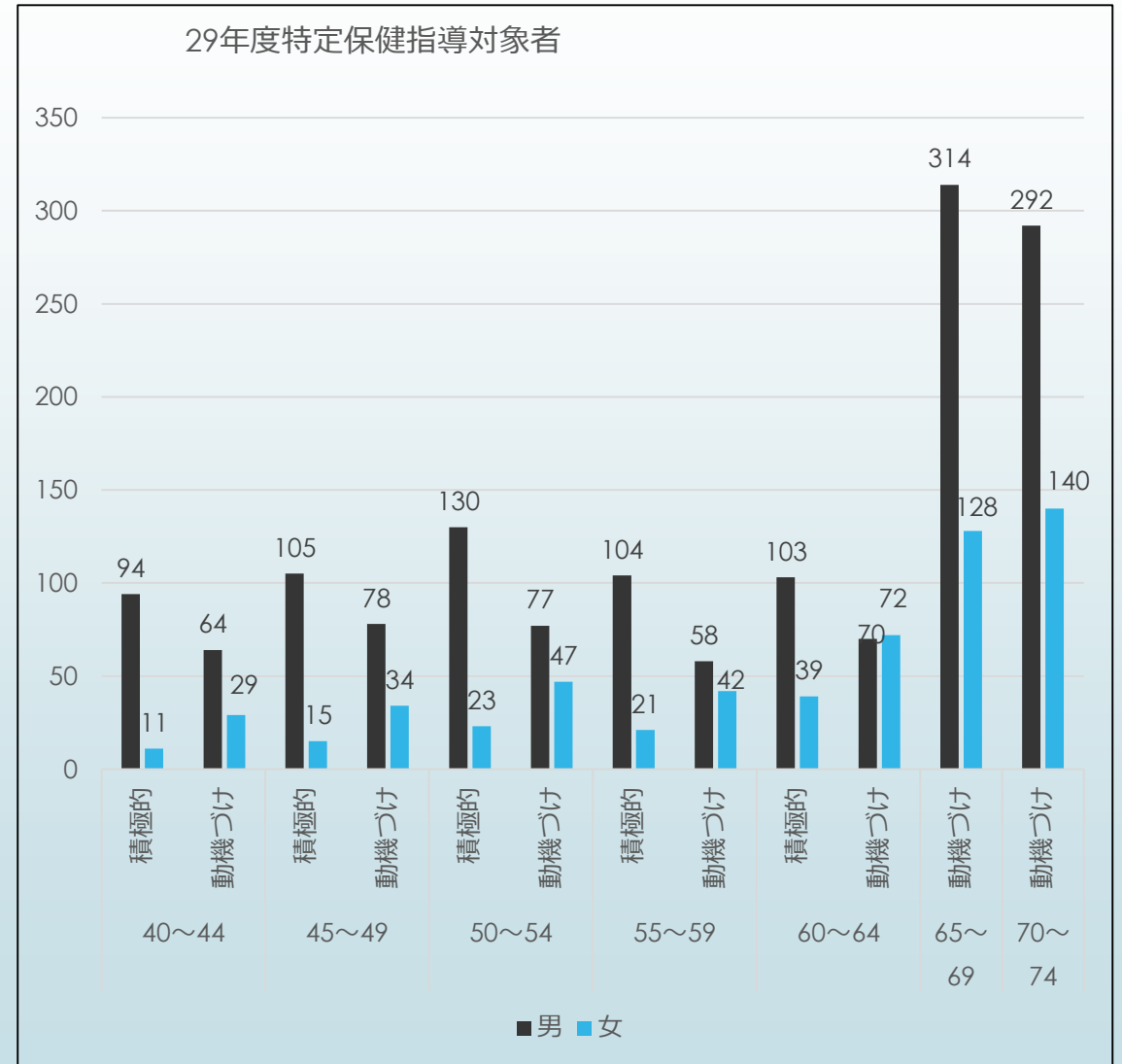
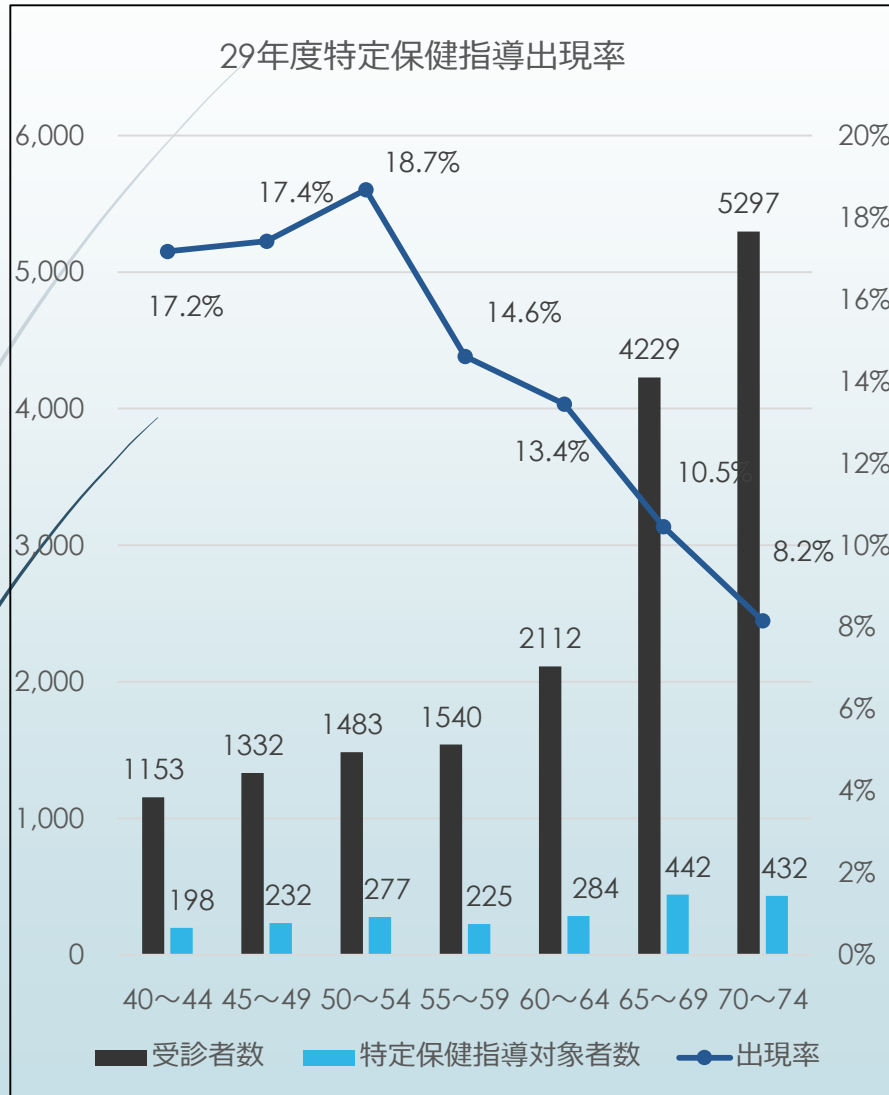
	良い点	改善点・確認事項
会場の設置	窓から光が入り、明るい雰囲気。ドアがなく話が周囲にもれる感じがして落ち着かなかったが、相談スペース入口にロールカーテンが設置され、個室に近づいた。	相談スペースは狭く、また、廊下の一角を相談スペースとして活用しているため、利用者は落ち着かない様子であった。エアコンの吹き出し口がテーブルの真上にあり、また風量が強い。エアコンの風が利用者や机に直接当たらないような配慮が必要。窓にカーテンがないが、日差しは大丈夫か。
指導者の態度、話し方	リラックスでき、話しやすい雰囲気作りができていた。	早口で滑舌が悪くならないよう、ゆっくりと話し、はっきりと発音する意識をもつと良い。
対象者のアセスメント	面接の冒頭にアンケートを取り、本人の大きな現状を把握することでスムーズに相談の導入ができていた。	
健診結果	健診結果の説明を丁寧に行っていた。	
運動・栄養・保健指導	利用者に寄り添ったアプローチができていた。時間配分も良かった。	腹囲の自己測定方法を伝えた方が良い。
目標設定	利用者の発言をもとに、無理強いすることなく、目標設定に誘導できていた。改善案も提示していた。	「夕食量を減らす」「歩数を多くする」等という漠然とした目標より、更に具体的な生活習慣改善目標が立てられると良い。
実践プログラムの紹介		健康チャレンジ事業やInbody測定会等の区の事業なども情報提供し、活用できると良い。
全体を通して	丁寧に面接していた。相談者が話しやすい雰囲気を作れており、概ね満足して帰られていたように思う。	会場は相談しやすく快適な環境になるよう要望する。目標設定は、実現可能なものを具体的に示し、行動変容につながられると良い。より良い保健指導を行うためには定期的な研修受講が必要と思われる。組織として研修機会を設け、指導者のスキルアップの更なる向上に努めてほしい。今年度参加した研修を教えていただきたい。また、来年度の指導者向けの研修計画についてお知らせいただきたい。

# 実施報告（例1）



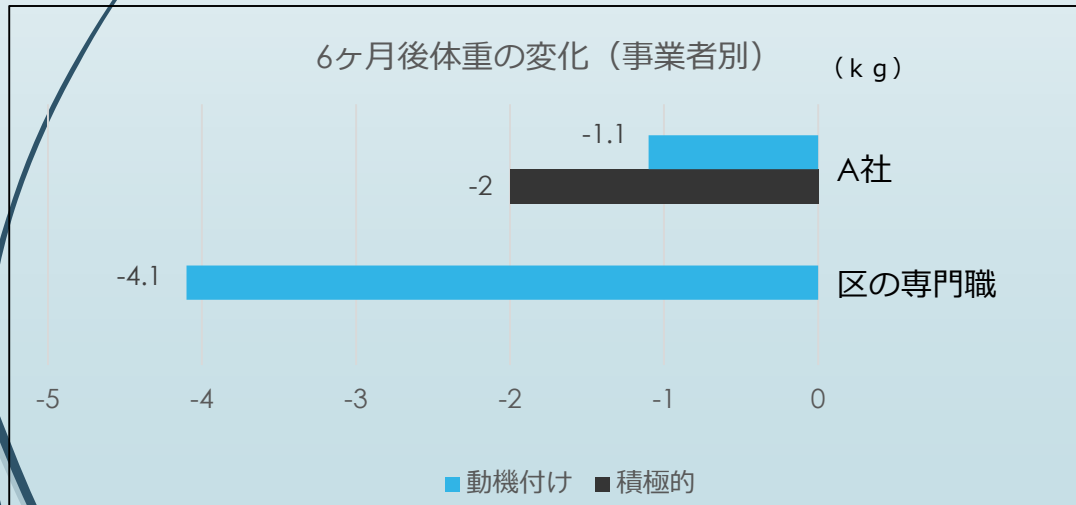
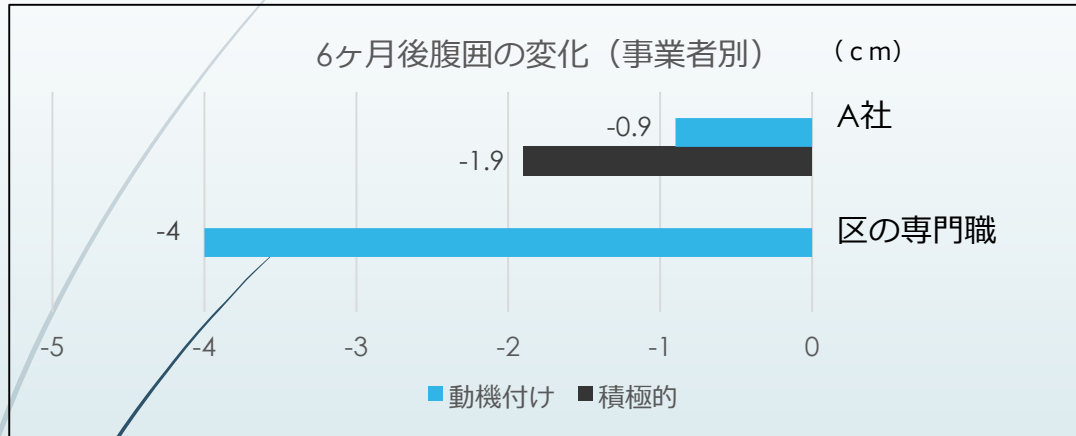
	特定保健指導対象者			初回面接者数 C (実施率 C/B)	終了者 D (終了率 D/C)	6ヶ月後の評価を得られた者 E (修了率E/C)
	対象者数(人) A	保健指導レベル	人数 B (保健指導レベル比 B/A)			
A社	2,087	積極的	644 (30.9%)	136 (21.1%)	97 (71.3%)	94 (69.1%)
		動機付け	1,443 (69.1%)	453 (31.4%)	453 (100%)	412 (90.9%)

# 実施報告（例2）

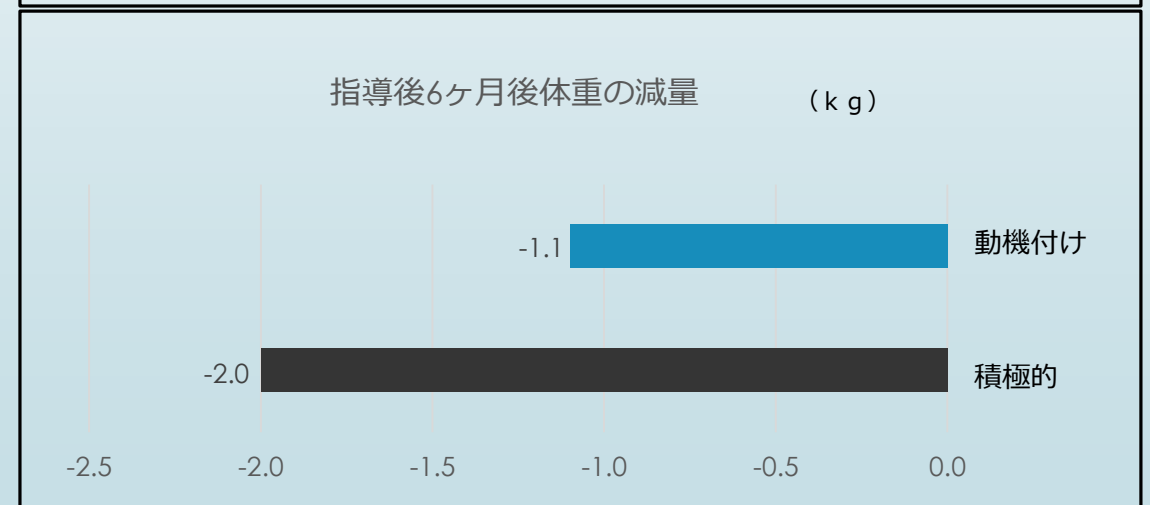
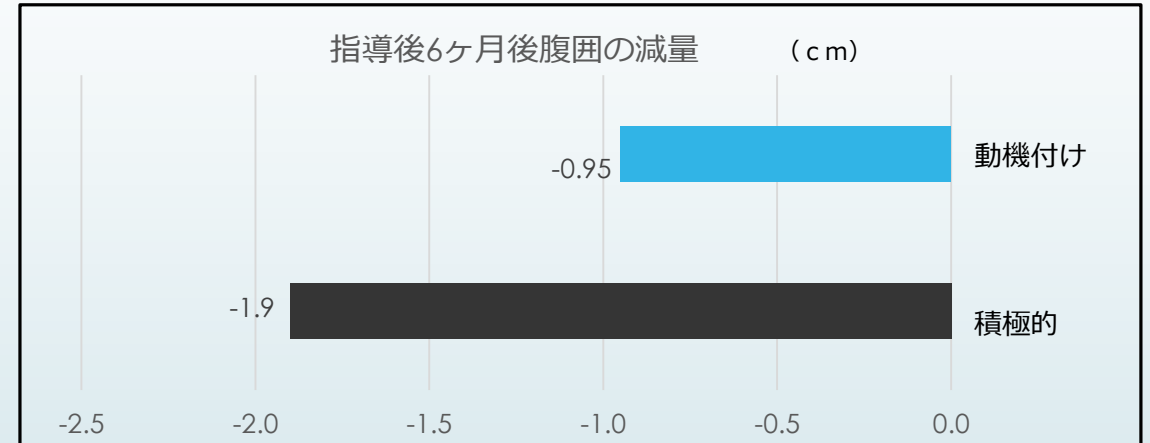


# 実施報告（例3）

特定保健指導評価終了者  
（事業者別 腹囲と体重の変化）

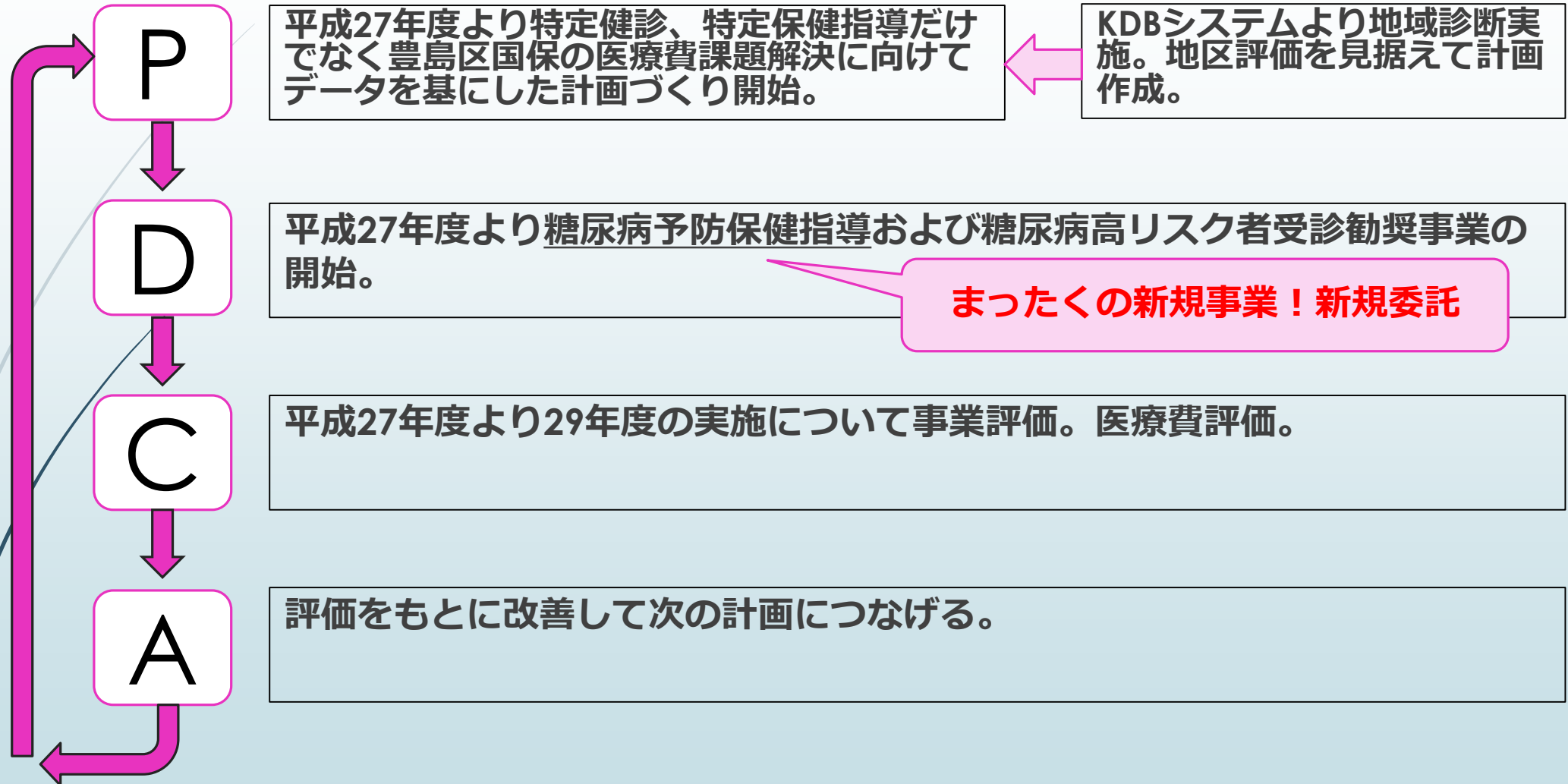


区全体特定保健指導6ヶ月後の評価可能者  
（腹囲と体重の変化）



# データヘルス計画の導入でPDCAサイクル明確に！

21

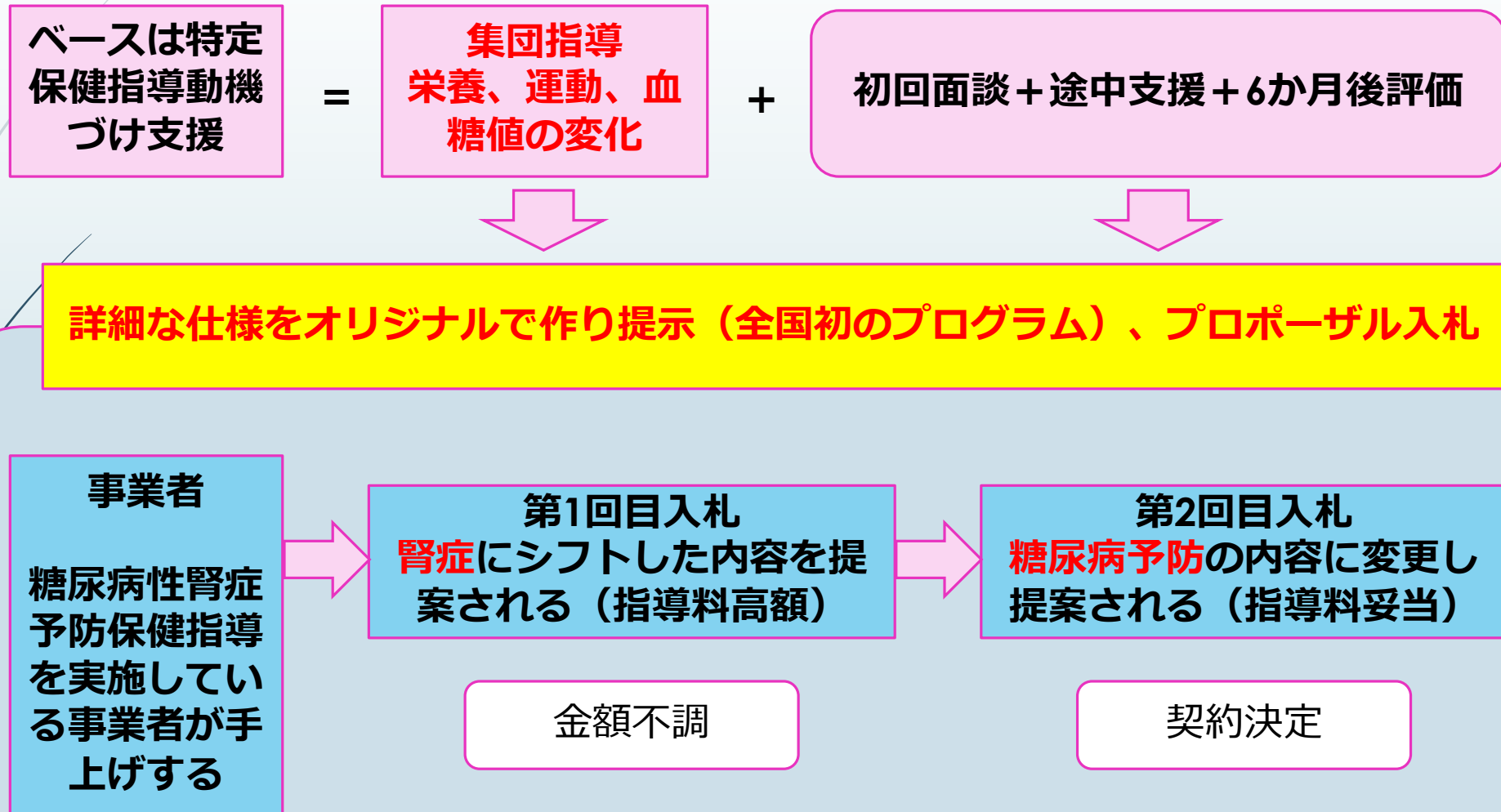


# 糖尿病予防教室の実施を決めた理由

対象者：特定健診結果HbA1c6.0～6.4 糖尿病薬未服薬、特定保健指導対象外の者

- ◎糖尿病一人当たりの医療費が23区中ワースト1であった
- ◎糖尿病予防保健指導対象者は特定保健指導対象者より多い  
腎症予防は数十人、糖尿病予防は数千人・・・沢山の人にメッセージを投げたい
- ◎特定保健指導の流れを参考に企画できないか？
- ◎実施するなら、**委託**で！
- ◎特定保健指導との決定的な違いを表そう（仕様書の検討）  
**体験型集団指導の導入（食事の試食、運動実技、食後血糖測定など）**  
**糖尿病を全面に打ち出そう！（あなたは何の病気？）**  
**評価は次年度検査結果だけでなく、意識や行動も評価しよう！**
- ◎対象者をはじめ多くの皆さんに糖尿病のことを伝えよう！（糖尿病特集広報）
- ◎実施結果を必ず、区民へ伝えよう！（広報、講習会）

# 糖尿病予防保健指導の委託



## 事業委託後の管理

全国初の  
プログラム



お手本がない



事業実施で押さえておきた  
いことを伝えよう

- ◎ 集団指導に一人でも多く勧誘
- ◎ 集団指導時の体験を個別相談につなげて！
- ◎ 月例報告はしっかりと！
- ◎ 初めての事業の帯同方法を提示
- ◎ 協議会以外の定期連絡会（1回/2W）を有効に
  - 利用勧誘方法の意見交換
  - 帯同時改善点の報告
  - 連絡調整の改善方法
  - 区の社会資源や広報（DM特集）内容を提供
- ◎ 協議会（2回/年）で事業評価をお返し

**事業者と密  
に情報共有  
できるかが  
カギ！**